

平成29年第4回 総務文教委員会会議録

平成29年9月29日

第2委員会室

開 会： 午後1時19分

委員長 中 嶋 元 則

副委員長 柘植 堯

2番委員 町野道明、3番委員 堀 光明、4番委員 水野功教、

5番委員 堀 誠

委員長 ; 皆さんお揃いですので、ただ今から平成29年第4回総務文教委員会を開催いたします。本日、他の公務のため、教育長から欠席する旨届け出がありましたので、ご了承願います。本日の会議は、先ほどの本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は次第書の順序で行いますので、よろしく願いいたします。それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において、詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認してからお願いをいたします。

委員長 ; それでは、「議第80号 平成29年度恵那市一般会計補正予算（第3号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。4番委員。

4番委員 ; 補正予算についてお伺い致しますが、東美濃ナンバーについて、なぜやるのか、なぜ補正になるのか。それから2つ目、費用対効果、投資をすればこのような成果が期待できるということ。これについてどのようにみておるかお伺いしたい。続いて、恵那市政ではこのようなことについて事業に対する評価のルールは設定されておるか。最後に計算式、なぜこの金額になったのかお伺い致します。

委員長 ; まちづくり企画部次長。

まちづくり企画部次長 ; なぜやるのかというご質問でございます。ナンバープレートというのは自動車になりますので、これが全国を走ることを考えますと、ナンバープレートの地名はもちろん知名度を上げるというところがあります。また、地域連携の醸成という意味では大きな効果があると考えています。知名度を上げることは観光面のみならず、人口減少対

策の面でもこの地域を全国に知ってもらおう目的がありまして、移住の面でも有効であると考えています。このようにあらゆるところで知名度を上げることはすべてにおいて有効と考えていますので、導入に向けて推進をしたいと考えています。それから、なぜこの時期に補正か、という質問でございますが、国土交通省が本年5月に期間限定で募集を始めております。その後、6市1町で検討を重ねてきた結果、連携して取り組むことが確認できましたので、今回、補正予算をお願いしたということでございます。それから、次に費用対効果の件でございますが、今回の補正でお願いしております負担金は導入に係る経費でございますが、導入時のPRの経費であり費用対効果、投資効果については測定をしておりません。6市1町をあわせた車両の登録台数は21万台強あります。この車両が全国を駆け巡ると当然のように知名度アップには絶大な効果があると思われまます。あらゆる方面で効果が出ると考えています。それからチェックをどういうふうに行っているか、ということでございますが、それぞれの案件によってチェックの仕方が違うと思っておりますが、今回のチェックの方法としましては、導入に向けて実績のある市に状況をお聞きしております。導入後のアンケートは実施しておりませんので、一体感を感じるというような漠然としたご意見はあるというところだと思います。それから、住民の意識、地域の誇りを感じる部分があると聞いています。このように住民意識が向上することは地域のつながりに寄与すると思われ導入に対するメリットがあると考えております。また、知名度を上げることについては、他の地域名では既に認知されているところがほとんどでございます。東美濃というのは、全国的に浸透している訳ではないので、やはり認知度が上がると期待できると考えております。それから、負担金の計算式でございますが、必要経費は2,000万円と計算しております。2,000万円の内訳は委員謝礼60万円、住民アンケート費用150万円、PR活動費1,690万円、予備費100万円とこういう形で2,000万円の経費をみております。2,000万円のうち、各市で1,500万円を負担することでありまして、1,500万円の各市負担は均等割750万円、人口割750万円というふうに計算しております。均等割は各市125万円、人口割は各市の人口を6市の9月1日住基人口で割った率ということで、恵那市の住基人口は9月1日が5万1,114人であったので、率は0.116になり86万8,000円ということで、先ほどの均等割と足しまして211万8,000円という計算をさせて頂いております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; これの趣旨は解りましたが、国の方の中身としては広域連携の地均しという話なんかを心配するわけですが、こういったことはないですね。東美濃市をつくると。

委員長 ; まちづくり企画部次長。

まちづくり企画部次長 ; そう言ったことは私の方は聞いておりません。

委員長 ; 他にありませんか。 2 番委員。

2 番委員 ; 運営経費が負担金総額 2,000 万円という話でございまして、先ほど 5 月の期間限定だという話がありましたけども、今後のスケジュールが 29、30、32 年度というふうに 4 年間ある訳ですが、その意味で負担金総額 2,000 万円を上回らないというふうに理解していいかというのが 1 点。 それから、交付開始が出来るという保障の説明をお願いします。

委員長 ; まちづくり企画部次長。

まちづくり企画部次長 ; この 2,000 万円の予算でございしますが、今年度正式な導入申込みをするまでの予算としてみております。来年度は図柄、今回は図柄入りご当地ナンバーでございしますので、図柄の製作、それから住民の方の合意が必要になりますので、これについては来年度の当初予算に計上させて頂きたいというふうに考えております。それから、これが確実に交付されるのかということでございますが、当然交付をされるということを目指して進めておりますので、交付に向けて取り組むということでもあります。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。「議第 80 号 平成 29 年度恵那市一般会計補正予算(第 3 号)(歳入歳出所管部分)」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 80 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を終了しました。最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、ご異議ありませんか。

(異 議 な し)

委員長 ; ありがとうございます。それではこれもちまして、平成 29 年第 4 回総務文教委員会を閉会といたします。ご苦勞様でした。

午後 1 時 30 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 総務文教委員長 中 嶋 元 則